

投資事業評価調書（新規）

部課室名	土木局港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 芝原 平 (環境係長 林 健児)	内線	4440 (4455)
------	--------	---------------------	--------------------------	----	----------------

事業種目	海岸事業	事業名	事業区間	総事業費	2.6億円
		淡路海岸 局部改良事業	久留麻地区	内用地補償費	0億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
淡路市 久留麻			H17	H17	H22

事業目的			事業内容		
<p>当海岸は、浦港と仮屋漁港の間に位置し、背後には人家が密集している。</p> <p>近年、沿岸方向漂砂の移動により、前浜の侵食が進んだため、背後人家への越波被害が生じている。また、海岸線の後退により、護岸基礎が一部露出し、護岸本体の倒壊の懸念も生じている。</p> <p>そこで、沿岸方向漂砂の移動を制限するとともに、波浪を低減し、越波被害の防止と護岸の安定を図ることにより住民の安全で安心な暮らしを確保する。</p>			<p>護岸改良（消波工設置）</p> <p style="text-align: right;">L=300m</p> <p>突堤 新設      n= 2基</p> <p>[ 負担割合 国:1/3 ,県:2/3 ]</p>		

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>当海岸は、侵食により前浜が消失したため、平常時から背後人家への越波被害が生じており、背後人家への安全な生活環境が損なわれている。</li> <li>前浜消失に伴い、護岸基礎が露出しはじめており、このまま放置すれば護岸が倒壊し、さらに侵食が進む恐れがあることから、地域住民の安心な日常生活を確保するために、早急な対策（消波工）が必要となっている。</li> <li>海岸侵食は、作右衛門川を中心に南北方向の沿岸漂砂の移動が著しく、前浜再生のためには、沿岸漂砂の制御のための対策（突堤）が必要である。</li> </ul>
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用便益比 <math>B / C = 4 . 3</math></li> <li>護岸本体は、健全であるため、現時点で護岸に波浪低減のための消波工の設置により、護岸への直接被害を防止し、施設の延命化を図ることが出来る。</li> <li>沿岸方向漂砂の制御のための突堤を整備することにより、作右衛門川の河口閉塞も解消でき、内水排除にも効果的である。</li> <li>地元は、越波被害に苦慮しており、実施に向けた協力体制は整っている。</li> </ul>
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>消波工の高さは、現況の護岸天端高より低く、景観に与える影響は少ない。</li> <li>突堤整備による前浜の再生を図ることにより、海浜植物や水生生物の生息域を確保することが可能になる。</li> </ul>
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>当海岸は、一昨年台風23号による高知県菜生海岸の被害を踏まえ、国の重点対策海岸に位置付けられており、海岸侵食の状況等からも早急な対策が必要となっている。</li> </ul>